

ノロウイルスにご用心!

ノロウイルス感染症とは、ノロウイルスに感染することにより嘔吐・下痢・発熱などの症状を引き起こす病気のことです。

牡蠣やアサリなどの二枚貝を加熱不十分な状態で摂取したり、感染者の体液に接触したりすることでノロウイルス感染症に罹患する事が多いとされています。通常、ウイルス曝露後12~48時間で発症し、基本的には1~3日で自然回復しますが、体の弱い乳幼児や高齢者が感染すると脱水状態に陥ることもあり、経口補水液や点滴による治療が必要となる事があります。

ノロウイルスの検査としては専用の検査キットを用います。重症化しやすい3歳未満、65歳以上は健康保険が適用され、15分程度で検査をすることが可能です。

ノロウイルス感染症を予防するには、体内にノロウイルスを侵入させないことが大切です。

MEDICAL
HOTLINE

診療ホットライン

こんな事にはご用心!

身近に感染者がいる場合は流水と石鹸でこまめに手を洗い、マスク着用などの基本的な感染対策を行いましょう。

また、次亜塩素酸による身の回りの用品の消毒も有効です。業務用の次亜塩素酸ナトリウムや家庭用の塩素系漂白剤を使って、塩素濃度200ppmの塩素液を作り、感染者の利用した食器を浸すほか、多くの人が触れるドアノブや感染者の嘔吐を処理した後の床や壁などを拭き取り消毒することが効果的です。

次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方(薄め方)

原液濃度	薄める倍率(原液と水の割合)
1%の場合	50倍(原液30ml+水1.5L)
5%の場合	250倍(原液6ml+水1.5L)



[消化器内科 診療部長 矢島 弘之]